

# 人文科学研究所研究叢書

## 68.『英国ミドルブラウ文化研究の挑戦』

2018年3月26日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,100円（税別）

ISBN 978-4-8057-5352-1

序	井川 ちとせ 武藤 浩史
<b>第一部 階級横断性と居住空間</b>	
『息子と恋人』の中のミドルブラウ —階級横断的大衆教養主義の構造—	武藤 浩史
ミドルブラウ文化と郊外と植民地 —ジョージ・オーウェルの初期小説—	近藤 直樹
ポピュラー・アイコンか、偉大な芸術か —L・S・ラウリーの工業風景画にみるミドルブラウ性—	福西 由実子
<b>第二部 歴史とイングリッシュネス</b>	
旅するミドルブラウ —H・V・モートンとイングランドの再発見—	見市 雅俊
ジェイン・オースティンのミドルブラウ性 —ヘイヤーの『アラベラ』における保守とモダニティの間—	小川 公代
エリザベス・ボウエンの『日ざかり』と〈中間〉の力学	長島 佐恵子
ピクチャレスクな都会のイングランド —ニコラウス・ペヴスナーと第二次大戦後のミドルブラウ・タウンスケープ—	木下 誠
<b>第三部 女性作家とミドルブラウ</b>	
ジャズはミドルブラウ音楽か？ —『幕間』におけるアメリカ文化の受容とイングリッシュネス—	加藤 めぐみ
「一つの世界の市民」としての映画観客 —『クロースアップ』誌と映画『サウス・ライディング』にみられるブラウの戦い—	松本 朗
あるミドルブラウ作家の挑戦 —新たな秘密の花園を求めて—	前 協子
<b>第四部 読者と受容</b>	
戦間期における新たなミドルブラウ読者層の創成 —ふたつの『デイリー・メール』の連載小説を手掛かりに—	渡辺 愛子
ジェームズ・ボンドはミドルブラウ文化の夢を見るか？ —イアン・フレミング『カジノ・ロワイヤル』と批評の課題の棚卸し—	秦 邦生
「ミドルブラウ」ではなく「リアル」 —現代英国における文学生産と受容に関する一考察—	井川 ちとせ